

柏崎市消防団の沿革史

元号	年	西暦	月	日	内容
弘化	5	1848	1	27	町会所「火防人足之申渡」
明治	4	1871			自身番を廃し、 火防組 を組織 一番組～六番組体制、約80名
明治	13	1880	8	8	酢屋火事（焼失842戸）
明治	20	1887	3	27	大久保屋火事（焼失540戸、比角村24戸）
明治	27	1894			消防組規則が制定 組頭、小頭、消防手の三階級制
明治	30	1897	4	3	日野屋火事（焼失1,230戸）
明治	35	1902	4	17	公設消防組 に改組
明治	44	1911	11	13	桐油屋火事（全焼633戸、破壊5戸、半焼6戸、土蔵13棟）
明治	45	1912			4部体制187名
大正	3	1914	7		蒸気ポンプ（400ℓ/m）を配備
大正	4	1915	11	21	消防後援隊を結成（約480名） 隊長：江原小弥太、副隊長：西巻進四郎
大正	6	1917	4		柏崎町消防後援隊に改称 隊長：西巻進四郎
大正	9	1920	1	10	鉢崎大火（焼失117戸）
大正	13	1924	3	3	柏崎警察署管内に公設消防組設置部落18、消防手1,300名
大正	13	1924	8	10	大洲村、下宿村を編入
大正	14	1925	11	28	柏崎町連合青年会が消防後援隊を結成
大正	15	1926	9	10	比角村を編入
昭和	3	1928	12	1	枇杷島村を編入
昭和	5	1930	11		10部隊体制376名、消防ポンプ自動車2台、蒸気ポンプ1台ほか
昭和	8	1933	4		新潟県から金馬簾の使用認可
昭和	9	1934	7	5	柏崎町防護団結団式

柏崎市消防団の沿革史

元号	年	西暦	月	日	内容
昭和	14	1939	4	1	公設消防組、柏崎町消防後援隊、柏崎町防護団を解体し、 柏崎町警防団 を設置（639名） 団長：原吉郎、副団長：吉浦栄一、前田義三郎 分団長：布施宗一、相沢新二、内山栄五郎、石塚善治、渡辺三十郎
昭和	15	1940	4	1	鯨波村を編入
昭和	15	1940	6	15	柏崎町警防団に 常備消防部 を設置 部長：高橋実、部員14名、予備員4名
昭和	15	1940	7	1	市制を施行し 柏崎市警防団 に改称
昭和	22	1947	12	17	消防団令の公布により 柏崎市消防団 と改組（319名） 団長：布施宗一、本部、常備消防部、工作部のほか6分団体制
昭和	23	1948	11	1	西中通村の一部（悪田）を編入
昭和	24	1949	4	1	柏崎市消防本部・消防署を設置
昭和	25	1950	4	1	中頸城郡上米山村を編入
昭和	25	1950	8	10	笠木恭平が第2代団長に就任
昭和	26	1951	4	1	北鯖石村の一部（長浜、新田畑、田塚）を編入
昭和	29	1954	4	1	西中通村を編入
昭和	29	1954	7	5	荒浜村を編入
昭和	30	1955	2	1	北鯖石村、田尻村、高田村を編入
昭和	30	1955	5	18	新潟県消防協会より表彰旗を拝受
昭和	30	1955	6	8	西川善吉が第3代団長に就任
昭和	31	1956	1	28	海津善四郎が第4代団長に就任
昭和	31	1956	9	30	中通村の一部（矢田、吉井、曾地、花田、飯塚、小黑須、成沢、五十土、曾地新田）を編入
昭和	31	1956	12	19	中頸城郡米山村を編入
昭和	32	1957	4	1	高浜町、黒姫村の一部（旧上条村）を編入
昭和	32	1957	4	14	宮川大火（焼失115戸、死亡1名）
昭和	32	1957	7	5	中鯖石村、南鯖石村を編入
昭和	33	1958	3	7	国家消防本部（現消防庁）より竿頭綬を拝受

柏崎市消防団の沿革史

元号	年	西暦	月	日	内容
昭和	34	1959	5	9	品田三勇司が第5代団長に就任
昭和	35	1960	7	16 17	第11回新潟県消防大会を開催 (式典：第一中学校、訓練：工業高校)
昭和	36	1961	1	2	三六豪雪
昭和	36	1961	3	3	自治省（現総務省）消防庁より表彰旗を拝受
昭和	38	1963	1	25	三八豪雪
昭和	39	1964	4	1	木村辰二が第6代団長に就任
昭和	41	1966	1	14	高橋久晴が第7代団長に就任
昭和	42	1967	4	1	団長1名、副団長3名、14分団体制、1,238名
昭和	43	1968	11	1	黒姫村を編入
昭和	44	1969	6	10	石黒明治郎が第8代団長に就任
昭和	44	1969	7	1	団長1名、副団長3名、15分団体制、1,501名
昭和	45	1970	4	1	団長1名、副団長4名、15分団体制、1,450名
昭和	46	1971	5	1	北条町を編入 工作分団ほか16分団体制、1,450名
昭和	46	1971	6	1	団長1名、副団長4名、17分団体制、1,450名
昭和	53	1978	4	1	団長1名、副団長4名、19分団体制、1,451名
昭和	53	1978	6	26	6・26水害
昭和	55	1980	4	1	竹田修治が第9代団長に就任
昭和	59	1984	4	1	長谷川吉夫が第10代団長に就任
昭和	62	1987	4	1	団長1名、副団長4名、18分団体制、1,304名
平成	元	1989	4	1	柿崎町大字上輪、高畔、蕨野を編入
平成	3	1991	4	1	岡村実が第11代団長に就任
平成	3	1991	8	11	第42回新潟県消防大会を開催 (式典：市民会館、競技会：多目的広場)
平成	6	1994	2	15	日本消防協会より表彰旗を拝受

柏崎市消防団の沿革史

元号	年	西暦	月	日	内容
平成	6	1994	5	1	女性消防団員の任用を開始
平成	7	1995	4	1	団長1名、副団長4名、14分団体制、1,284名
平成	7	1995	10	17	柏崎市消防団無線開設（基地局、陸上移動局）
平成	9	1997	8	7	ナホトカ号海難・流出油災害対策本部長（旧運輸大臣）より感謝状を拝受
平成	10	1998	3	7	日本消防協会より竿頭綬を拝受
平成	11	1999	3	10	山田順榮が第12代団長に就任
平成	13	2001	4	20	西山町消防団無線開設
平成	13	2001	10	18	第15回全国女性消防操法大会に柏崎市女性消防隊出場
平成	16	2004	4	1	品田汎朗が第13代団長に就任
平成	16	2004	10	23	新潟県中越地震（M6.8、震源の深さ13km、最大震度7）
平成	17	2005	5	1	高柳町、西山町の編入により、高柳町消防団、西山町消防団を柏崎市消防団に統合（1,516名） 団長1名、副団長8名、23分団体制（柏崎市14分団＋高柳町3分団＋西山町6分団）
平成	19	2007	4	1	団長1名、副団長6名、23分団体制、1,505名
平成	19	2007	7	16	新潟県中越沖地震（M6.8、最大震度6強）
平成	20	2008	3	7	自治体消防制度60周年記念式典において防災功労者消防庁長官表彰を拝受
平成	20	2008	7	1	柏崎市消防団協力事業所表示制度開始
平成	20	2008	9	1	平成20年防災功労者内閣総理大臣表彰を拝受
平成	22	2010	4	1	高柳を3分団から2分団に、西山を6分団から3分団に再編 団長1名、副団長6名、19分団体制、1,471名
平成	22	2010	7	1	6方面隊体制、団本部にラッパ隊が発足
平成	23	2011	4	1	団員定数を1,717名から1,584名に改正
平成	23	2011	8	7	第62回新潟県消防大会を開催（式典：中止、競技会：総合体育館駐車場） 新潟県で初の水出しポンプ操法となる
平成	24	2012	4	1	竹内悦夫が第14代消防団長に就任 女性消防隊が発足 隊長：近藤光子、副隊長：平野知己、隊員10名

柏崎市消防団の沿革史

元号	年	西暦	月	日	内容
平成	25	2013	4	1	入澤哲郎が第15代消防団長に就任 団員報酬を改正
平成	27	2015	4	1	15-5栃ヶ原を15-4岡野町に、15-7高尾を15-6坪野に、16-4荻ノ島を16-3漆島に統合 35部85班体制、1,446名
平成	27	2015	8	8	全積載車への車載型デジタル無線機配備を完了 全団員にゴム製救助用半長靴を貸与
平成	27	2015	10		デジタル携帯無線機を副分団長以上に配備
平成	28	2016	12		全団員にオレンジ色雨衣を貸与
平成	29	2017	3	7	日本消防協会より竿頭綬を拝受
平成	29	2017	4	1	吉田喜一郎が第16代消防団長に就任
平成	29	2017	11	1	初の学生消防団員を任用（新潟工科大学から3名、新潟病院附属看護学校から2名）
平成	29	2017	12		全団員に耐切創性手袋を貸与
平成	30	2018	4	1	学生消防団活動認証制度を施行
平成	30	2018	11		全団員に防寒衣を貸与
平成	30	2018	12	20	学生団員の増加（4月時点で15名）により総務大臣感謝状を拝受
平成	31	2019	4	1	機能別消防団員の任用を開始し、大規模災害支援隊が発足 12-2曾地と12-3五十土、15-3岡野町と15-4栃ヶ原／岡野町を統合、35部83班体制 団員定数を1,584名から1,487名に改正
令和	2	2020	3	9	団員の増加（4月時点で前年度から27名増の1,408名）、女性団員の増加（14名増の49名）及び 学生団員の増加（22名増の37名）により総務大臣感謝状を拝受
令和	2	2020	4	1	須田千佳雄が第17代消防団長に就任 学生消防隊が発足（新潟病院附属看護学校から31名、新潟工科大学から12名、新潟産業大学から5名） 13-3宮川と13-4椎谷を統合、34部82班体制
令和	3	2021	4	1	18-6田沢と18-7藤掛を統合、34部81班体制、1,312名